



先祖に感謝し、ご縁を深める

おこぼ様

無病息災を願うお彼岸行事「おこぼ様」が3月21日、行われました。「おこぼ様」は、「弘法様」がなまったもので、志佐町赤木地区にある落合の洞窟で行われる彼岸行事として古くから受け継がれています。

洞窟は、高さ約2[㍓]、幅約30[㍓]、奥行き約10[㍓]。入口に弘法大師の像がまつられ、奥に40体以上の地藏が並んでいます。この日は天候が悪く、洞窟での参拝は行われませんでした。先祖への感謝と弘法様のお徳をしのび、地区住民により洞窟にろうそくが灯されました。



いつまでもお元気で！

千代延 マサヨさん 100歳のお誕生日

千代延^{ちよのぶ}マサヨさん(志佐・下高野)が3月20日、100歳の誕生日を迎えました。

千代延さんは、大正7年に島根県浜田市の農家に二男四女の末っ子として生まれました。結婚後、三男二女を授かるも、早くにご主人を亡くし、会社勤めをしながら子どもたちを育てあげ、たくさんの孫やひ孫にも恵まれました。

長年、広島市で一人暮らしをされていましたが、2年程前から次男の住む松浦市に移り住まれ、現在は有料老人ホーム「まつらの里」でのんびり生活されています。

この日は施設で家族らに囲まれ、温かな祝福を受けられました。



安全で快適な道路を守る

交通安全総点検

交通安全運動期間中に県内市町で実施されている交通安全総点検が、今回松浦市で4月12日に実施されました。

交通安全総点検は、誰もが安心して利用できる道路環境づくりのため、実際に道路を歩いて点検し、道路交通環境の改善に向けた取り組みを行うものです。

この日、自治会や学校関係者、各種福祉団体、交通安全団体、警察署、道路維持管理部門の担当者など、約60人が参加し、2班に分かれてエリア内を歩き、利用者の視点から道路交通環境の問題点を抽出しました。

点検後は、結果を参加者同士で話し合い、今後の道路管理と交通安全に対する意識向上を図りました。



響きわたるこどもたちの歓声

今福児童遊園リニューアル

今福児童遊園(今福町・人柱)のリニューアルオープンイベントが3月27日に行われました。

電源立地促進対策交付金を活用して古くなった遊具を撤去し、大型コンビネーション遊具、鉄棒、ブランコの3種類の遊具を新たに設置しました。

オープニングでは今福保育園の園児たちが元気よくマーチングを披露。開園を待ちわびた親子連れも多数訪れ、来賓らと共に開園を祝いました。テープカット後、一斉に子どもたちが遊具に集まり、楽しく遊ぶにぎやかな声が園内に響きました。



学校の記憶を伝える

上志佐村青年学校跡地の標示板建立

上志佐小学校敷地内に建立された「上志佐村青年学校跡地」標示板が3月30日、お披露目されました。

青年学校は、義務教育を終えた青少年らに社会に出ても広く教育の機会を与え、社会生活に必要な知識や技能を修得する目的で設置された教育機関です。

上志佐村青年学校は、長崎県唯一のモデル校として、昭和23年3月に学制改革で廃校となるまで、優秀な人材を多数輩出した歴史があるそうです。

今回、廃校70周年の節目を迎え、学校の歴史を後世に伝えたいと、最後の卒業生である大畑利治さん（志佐・横辺田）が発起人となり有志各位で実現されました。



称頌碑の前で冥福を祈る

調川駅長（故）丸山七郎氏慰霊祭

旧国鉄松浦線当時の調川駅長である故丸山七郎氏の慰霊祭が4月5日、称頌碑前で執り行われました。

丸山氏は昭和18年4月5日、貨物列車の脱線事故復旧を図る際、空襲警報と灯火管制で作業が進まなかったため、やむなく明かりを灯して復旧作業を完遂。翌朝、事故と命令違反の責任を取って、自ら機関車に飛び込み亡くなったとされ、碑はその功績をたたえ、昭和20年5月に建立されました。

今回、個人でお参りを続けていた今福神社の早田伸次宮司が、松浦鉄道協会前会長の吉本務さんを中心に、丸山氏の遺族を探す取り組みを続けていると知り、同会に呼びかけたことがきっかけで、没後75年の節目に初めて慰霊祭が開かれました。



美しい花を楽しめるように

松浦ロータリークラブ

松浦ロータリークラブ（角野智志会長）が3月30日、不老山総合運動公園の除草作業を行いました。

同会は、社会奉仕活動の一環として、除草・清掃活動などのまちをきれいにする取り組みを市内各地で継続して実施しています。

今回は、昨年ガザニアを植栽した一角の雑草の除去作業を実施。第22回不老山花と光のフェスタに訪れる人々を気持ちよく迎えらるようにと会員約25人が汗を流しました。暖かくなりガザニアの花が咲けば、ツツジとともに鮮やかな色彩が公園を明るく彩ります。



戦没者の霊を慰める

春の戦没者慰霊祭

市内各地で、春の戦没者慰霊祭が執り行われました。

志佐地区の戦没者慰霊祭は4月4日、慰霊碑の前で行われ、戦没者の遺族や市民などが参列し、黙とうを捧げ、戦没者160人のご冥福をお祈りしました。

志佐地区戦没者慰霊奉賛会の向井勝正会長は、「私たちの平和と繁栄が尊い命を捧げ、礎となった英霊の皆さまの犠牲の上に築かれていることを決して忘れはいたしません。戦争体験者の高齢化が進む中、戦争の記憶を風化させないことを強く決意し、戦争を二度と繰り返さず、恒久平和な社会を築くことを誓います」と慰霊のことばを述べました。

